

### 多摩川でボートを楽しみました!

6月の晴天の1日、「多摩川でボートを楽しむ会」が月初めの土日に開いているボート教室に、確か3年ぶりくらいになりましたか「青少年対策田園調布地区委員会」の若人たちが漕ぎに来てくれました!

ガス橋の下から漕ぎはじめ、多摩川大橋を超えたところでUターン。最初は少しぎこちなかった漕ぎ方も、後半は「パドル行こう!」の掛け声のもと、往復約4キロをなんと古尾谷会長もフルでこいでいただき、さぞかし筋肉痛を満喫されたのではと思っています。

また一緒に漕ごうね!

編集委員 稲垣 芳隆



### 訂正版



令和4年10月  
Oct., 2022  
季刊 Quarterly

# でんえん

Mytown Den-en-chofu わがまち

発行 地域力推進  
田園調布地区委員会  
編集 だんえんわがまち編集委員会  
事務局 田園調布特別出張所  
大田区田園調布1-30-1  
TEL 03-3721-4261  
http://www.city.ota.tokyo.jp/

### 子どもたちの川柳

田園調布中学校2年生がつくった川柳を紹介します。

夏休み	最後の宿題	感想文
加藤 基倫		
夏休み	最後の宿題	感想文
加藤 基倫		
テスト後の	「終われば気が楽」	なんて嘘
落合 将真		
迷解答	五大湖天皇	亀井はなジャズミシ
セリスあり……		

### 編集後記

この一文を書いている時点ではオミクロン株BA.5の感染者数が拡大中ですが、読者の皆様はお元気にお過ごしのことと思います。

街は徐々に賑わいを取り戻し様々な行事が開催されて、何より喜ばしいのは人々の暮らしが日常を取り戻しつつあることです。

コロナ禍の行方はまだまだ予断を許しませんが、様々な感染症と同じく人類は必ずこれを克服して平穏な生活を取り戻すと思います。

読者の皆様のご自愛をお願いながらの編集後記といたします。

編集委員 三島 通利

### お詫びと訂正

でんえんわがまち127号掲載の短歌「日曜日 楽しい時間が過ぎて行く 気付いたら夜 時間よ止まれ」の作者名について誤りがありました。正しくは徳田 莉来さんです。

訂正してお詫び申し上げます。

6月16日に田園調布せせらぎ館第一多目的室で、シニア世代のための交流サロン『ミンジーカフェ』、今回は大学落研OB三人の落語会を開催しました。

落語の前に健康寿命維持のための『つながる体操(自宅でもできる簡単な体操)』をします。続いてお待ちかねの落語会。楽舞家 恋さん(らぶや かいさん)さんは『牛ほめ』(うしほめ)、茶利亭 夜楽(ちやりてい やらく)さんは『鰻の幫間』(うなぎのたいこ)、金原亭 駒与志(きんげんてい こまよし)さんは『景清』(かげきよ)、お三方とも羽織姿で本格的古典落語を披露してくださいました。気持ちの良い素晴らしいホールでの開催に、多くの方がご参加くださいました。

地域の皆さんが交流し、落語で笑ったり、体操することで楽しい時間を過ごしました。  
編集委員 立川 由美



### 楽舞家 恋さん 『牛ほめ』

いつもボーっとしている与太郎に対し頭を抱えている父親。なんとか息子の評価を上げようと、兄の新築祝いのあいさつに行かせる。与太郎はなんとか成功したものの、最後にはやはり失敗してしまう。



### 茶利亭 夜楽さん 『鰻の幫間』

太鼓持ちを生業としている一八は、真夏のカンカン照りの中、昼食にありつこうと客を訪ねまわりますが、うまくいかない。そんな中「カモ」を見つけうなぎ屋に入るが、思惑とは逆にカモにされてしまう。



### 金原亭 駒与志さん 『景清』

失明した彫金職人の定次郎は、眼病に効くと言われる柳谷観音へ21日間お参りに行くが、隣でお参りしていた失明者の娘と気が合い、邪念のせいか見えかけていた目が真っ暗に。それを聞いた近所の旦那、甚兵衛は「それなら昔、平景清が目玉をくり抜いて納めたという上野清水の観音様へ願えば、きっとご利益があるだろう」とすすめ、定次郎は早速清水の観音様へ向かう……。観音の霊験を物語る噺です。

※内容の訂正による差し替えを行いました。



### ミンジーカフェとは

『ミンジーカフェ』は民生児童委員と地域包括支援センターが協力してシニア世代の皆さんの交流と健康増進を目的とし、主に毎月第二木曜日(8月を除く)開催しています。皆様のご参加お待ちしております。

### 知っていますか?



7月に大手通信事業者が数日に渡り異常をきたした折、脚光を浴びた公衆電話は1995年度には国内に約80万台ありましたが、携帯電話の普及で2020年度末には14万台へと減少してきています。

有事の際には必需品に格上げされる公衆電話ですが、維持費用は「ユニバーサルサービス料」として携帯、固定電話の利用者が、ひとつの電話番号に対して税込みで月額2.2円負担しています。また公衆電話はNTTの通信ビルから電話線を通じて電気の供給を受けているために停電時でも通話が可能であり、また災害時には通信規制の対象外となります。

その公衆電話ですが、田園調布駅の改札を入ったところに3台設置されています。駅が新しくなった時にはホームにもありましたが、これは撤去され、今は置台だけが残されています。

では、改札を出たところにはあるのでしょうか?

たった1台ですが、淋しげに隠れる様にして残っています。ご存知でしたか?

切符券売機に向かって、右手奥にあります。

余談 家の片隅にテレホンカードが眠っていませんか? 1枚あると10円玉より軽くてかさばらず長時間話せるので便利です。

編集委員 三輪 順子



# ボッチャ体験会・スマホ相談会を開催!

大田区元気シニアプロジェクトの一環で、令和4年6月25日に田園調布せせらぎ館にて実施しました。令和2年11月8日以来、2年7か月ぶりのイベントとなります

IN  
田園調布  
せせらぎ館

## ボッチャ体験会 (第一多目的室)



東京パラリンピックで日本が活躍したボッチャは「ジャックボール」と呼ばれる白いボール(目標球)を投げ、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投球して、いかに近づけるかを競います。カーリングのように、相手のボールをはじいたりして、自分が優位に立てるよう位置取りをしていきますが、的となるジャックボールもはじいて移動させることができるため、カーリングとは一味違う戦略が展開されます。男女・年齢を問わず誰でもできるユニバーサルスポーツです。



② 大田区スポーツ推進委員によるボッチャのルール説明を受けた後、30人以上の参加者が8グループに別れて総当たり戦をしました。

受付でランダムにグループ分けを行い、開催が土曜日の午後だったことから小学生から高齢の方まで老若男女の交流になりました。白熱した試合に参加者から、楽しかった、継続して開催してほしいとの感想がありました。

## スマホ相談会 (2階フリースペース)



スマホ相談会は大学生も含めた相談担当者が、スマホ操作をはじめとするスマホ全般の疑問点にお答えしました。

メールやLINEで写真を送りたい。LINEの友達登録のやり方。QRコードを読み取り、アプリをインストールしたい。ガラケーからスマホに変えるとどんなことができるのか。様々な相談内容に一つ一つご理解いただけているか確認しながら説明しました。

今回得られた達成感を機会に、次のステップにつながるよう定期的に開催をしていきたいです。

大田区元気シニアプロジェクトは、健康寿命延命のためフレイル(虚弱)の先送りを地域ぐるみで行っていくプロジェクトです。今後も運動・栄養・社会参加の三つの柱が揃ったイベントを計画します。回覧板・掲示板をご覧ください!

編集委員 立川 由美

# まちの取り組みをご紹介します

今回ご紹介するのは、一般社団法人田園調布会の取り組みです。

田園調布駅前  
西口広場  
“花植え替えです。”



植替えの様子



小さなお子さまも参加しました

③ 梅雨入りのひと雨過ぎした、6月7日水曜日、田園調布会 春、秋2回の花植え替え恒例行事、春のバージョンです。

文化委員会の奉仕団が中心になっての作業です。コロナ以前までは支援学校の生徒さんの校外活動の一環として、一緒に参加してもらっていました。

今回は少人数で時間をかけての作業です。それでも30名くらいは集まりました。

駅前交番の警察官の協力を受け、ロータリーの車を気にすることなく安心です。

この公園の噴水は、常時循環型のため、あまり高くは上がりません。周りの木製のベンチはひとときの憩いの場所として好評です。

まわりのバラも年月を経たとはいえ十分に花を咲かせて頑張っています。

次にどんな花がくるのか楽しみでもあります。

編集委員 児嶋 和歌子

